

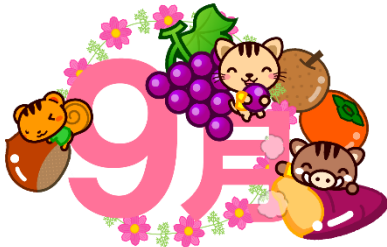


本村幼稚園 9月の園だより

令和7年9月1日 港区立本村幼稚園長 山崎 高志

子どもと相談してから決める

園長 山崎 高志



長い夏休みが終わりました。記録的な暑さだった今年の夏休みをお子さんはどのように過ごしていましたか。ぜひ、様子を教えてください。

さて、みなさんは、子どもに何かを教えたり指示したりするとき、どのようにしていますか。「次は〇〇しようね」「△△しなさい」「あと□分で終わりね」などと大人が決めて、それを子どもに伝えていることが多くありませんか。幼稚園ではどうしているかというと「どうしたらいい?」「何ができるだろう?」と子どもに相談して、子ども自身が考えるように促しています。もちろん、子どもの方からなかなか意見が出ないこともあります。そういう時には、「〇〇したらどうかな?」と教師が提案します。

なぜ、教師はこのように一見面倒なことをするのでしょうか。理由の一つは、少しでも自分で考えたことの方が、子どもが実行しやすいからです。そしてもう一つ、「相談する」という経験を子どもに積ませたいという理由があります。解決策を話し合うことで、子どもは「折り合いをつける」経験ができます。話し合いは、子どもに有意義な学びを与えるのです。

2学期は4名の園児でスタートします。少し寂しくなりましたが、少人数だからこそ、あわてず、あせらず、あきらめずに相談し「子ども自身が考え、決め、実行すること」を指導していきます。例えば、これまでの「親子運動会」も「スポーツフェスティバル」と名称を変え、子どもたちと相談しながら内容を決めますので、ご理解とご協力のほどよろしくお願いします。

まだまだ暑い日が続きますが生活リズムを整えて、お子さんが熱中症にならずに元気に登園できるようご協力をお願いします。